

G I G Aスクール構想の計画変更について

本市のG I G Aスクール構想については、当初脆弱な通信環境を踏まえ、令和3年度から6年度にかけて段階的に児童生徒1人1台環境を実現していくこととし、本年8月開催の教育民生常任委員会で説明したところである。

そうした中、ケーブルテレビ伝送路整備（F T T H化）によって、令和3年度中には概ねすべての学校で、高速大容量通信が可能になることとなった。また、現在吉田中学校で行っている実証事業では、I C T機器を存分に使った授業が展開され、教職員間や生徒間の学び合いも進んでおり、I C T機器の整備によって、より一層の活用が大いに期待できることから、段階的な整備計画を前倒して、本年度中に全児童生徒分の端末を整備することとし、12月補正予算において計上する。

1. 当初計画

(1) 整備年度・台数

令和3年度：中学校生徒分（約900台）、教員分（約300台）

令和4年度：小学校5・6年生児童分（約600台）

令和5年度：小学校3・4年生児童分（約600台）

令和6年度：小学校1・2年生児童分（約600台）

2. 変更計画

(1) 整備年度・台数

令和2年度：小・中学校児童生徒分（約2,700台）、教員分（約300台）

(2) 整備費用（概算）

国庫補助分：202,069千円（うち国庫補助金81,000千円）

国庫補助は全児童生徒数の2/3（1,800台）が補助対象

単 独 分：128,932千円